

研究課題 当院における便潜血陽性患者に対する内視鏡的アプローチの検討

#### 研究期間

データ収集期間 2016 年 1 月 1 日 ～ 2017 年 1 月 31 日

データ分析期間 2018 年 6 月 21 日 ～ 2018 年 12 月 31 日

#### 研究機関

地方独立行政法人 市立吹田市民病院 消化器内科

#### 目的

大腸癌検診における便潜血検査は十分な科学的根拠があり普及しているが、大腸内視鏡検査を行っても病変がない症例をしばしば経験する。大腸内視鏡検査は前処置が必要であり、侵襲的な検査であることからその適応には慎重を要する。今回、便潜血陽性患者における大腸内視鏡検査によるポリープ有病率を評価し、臨床的特徴について検討した。

#### 方法

2016 年 1 月から 2017 年 1 月までの間に便潜血陽性を指摘され当院で大腸内視鏡検査を行った 132 例を対象とした。後方視的に腺腫以上のポリープあり群となし群に分類し、臨床的背景や病理組織学的特徴に関して統計学的手法を用いて比較検討を行い、ポリープあり群にみられる臨床的特徴を解明する。

#### 意義

便潜血陽性患者のポリープ有病率やその臨床的特徴を明らかにすることで、大腸内視鏡検査を勧める有用な情報になると考える。

#### 個人情報の保護

本研究では患者様のカルテなどから病歴および血液検査結果に関するデータ収集を行うため、研究対象者のプライバシー保護のため研究の意義や目的、方法、匿名化の確保を行い、研究結果をインターネットのホームページ上に公表されます。研究のために知りえた個人情報は院外に持ち出さず、記録物と合わせて施錠可能な場所に厳重に保管・保存します。データは個人情報が特定できないようにします。また、本研究でのみ使用し研究終了後 5 年間保存しその後個人情報に留意し破棄します。研究結果は学会に発表することもあります。その際も個人情報が特定できないように対処します。当院臨床研究審査委員会の承認を得ます。

#### 問い合わせ等の連絡先

地方独立行政法人 市立吹田市民病院 消化器内科 長井 健悟

住所：564-0082 吹田市片山町 2-13-20 電話番号：06-6387-3311 内線 7020